

## 令和3年度 講座実施報告書

### 概要

講座の名称	女性相談担当者支援研修（第2回）				
講座の目的	女性の相談は、家族や夫婦、子育て、貧困、そしてDVやデートDV、性被害、ストーカー、セクシャル・ハラスメントなど、複雑多岐にわたっています。そこで相談者の気持ちをくみとり女性のエンパワメントを支援できるように基礎的知識や技術の習得、相談の質の向上を図るため実施します。				
募集対象	県・市町村で女性相談に携わる者で、女性相談担当2年以上の行政職員、相談員等				
定員人数	30名	申込人数	22名	当日参加人数	22名
申込方法	郵送、ファックス、電子メール				
託児	(募集なし)				
回数	1回				
開催場所	Zoomによるオンライン研修				
日時	6月16日(水) 13:30~15:30				
講師	安納 吉野 さん (産業カウンセラー 女性問題カウンセラー)				
開催内容	講義 「女性相談の課題解決に向けた対応」				
参加者の声	<p>・「相談者の意思を尊重する」ということを忘れずに日々の相談に取り組みたいと思います。事例のおかげで、相談の中でのジェンダー視点の持ち方や相談のプロセスが良くわかりました。</p> <p>・安納先生の講義は毎回受けていますが、力が湧いてきます。明日からまたがんばろうと思います。早く事例検討が出来るようになるといいですね。</p> <p>・「相談者の意思を尊重する」ということを忘れずに日々の相談に取り組みたいと思います。事例のおかげで、相談の中でのジェンダー視点の持ち方や相談のプロセスが良くわかりました。</p> <p>・安納先生の講義を拝聴し、改めて相談の基本を確認して、自身の相談員としての姿勢を振り返る良い機会になりました。自分流の偏った支援になっていないか、教示的になっていないか等、常にリセットするよう心がけています。今の時代の流れや制度を把握しつつ、社会資源の幅を広げながらのソーシャルワークは、常に変化しています。日々の勉強は大事だと思いました。本日はありがとうございました。</p> <p>・単なる傾聴にならず探索的な傾聴を行う事、先導的にならない、相談者と相談員でフィードバックしながら理解を深めていき相談ニーズを共有化してく事等、自分の意識を見直す大変良い機会となりました。本日の研修で学んだことを業務にいかしていきたい。</p> <p>・このような研修の機会はとても大切だと思います。人があつまれないのならオンラインでと研修の場を保障していただいたこと、とてもよかったです。ありがとうございました</p> <p>・オンラインでは難しいかもしれませんが、事例検討など支援の仕方の疑似体験ができれば有難いです。</p>				